

<開催レポート>

デジタルハリウッド創立から28年続く伝統の「クリエイティブアワード」と
大学・大学院・専門学校等の「合同入学式」を同時開催

DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX 2023

IT関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクール・大学・大学院を運営するデジタルハリウッド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO吉村毅、学長杉山知之)では、創立時から28年続く伝統行事、第28回『DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX 2023(2023年度デジタルハリウッド合同入学式/2022年度優秀作品クリエイティブアワード)※以下DF2023』を、2023年4月9日(日)、LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)を会場として、海外などからもご参加いただけるYouTube Liveからの生中継も行い、開催いたしました。



撮影: 棚田 瑛葵

【DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX 2023】

(2023年度デジタルハリウッド合同入学式/2022年度優秀作品クリエイティブアワード)

- 会場: LINE CUBE SHIBUYA(渋谷公会堂)/YouTube Live 中継
- 日程: 2023年4月9日(日)
- オフィシャルサイト: <https://www.dhw.co.jp/df2023/>

■DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX(デジタルフロンティアグランプリ)とは

『DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX』通称「DF(ディーエフ)」とは、国内外のコンテンツ業界に多数のクリエイターを輩出するデジタルハリウッドが、設立当初より主催する伝統的なクリエイティブアワードです。



クリエイティブアワードは、4 年制大学、大学院、社会人・大学生向けの専門スクール、オンラインスクール、全国 38 拠点にも及ぶ STUDIO、ジーズアカデミーなど、デジタルハリウッドが運営をする教育機関に加え、国内外のデジタルハリウッドアカデミー提携校で制作された CG アニメーション、映像、グラフィックデザイン、アート、インタラクティブコンテンツ、XR コンテンツ、サービス企画、研究論文など、1,000 点を超える作品の中から審査し、アーティストやクリエイター、起業家、研究者として各分野の最前線で活躍する卒業生審査員による厳正な審査を経て、前年度の各賞とグランプリを決定いたします。

今年におきましても、デジタルハリウッド各校の「2023 年度の合同入学式」と「2022 年度優秀作品クリエイティブアワード」を同時に開催しました。

■DF2023 のコンセプト

DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX では、毎年テーマを設定し、開催しています。

今年のテーマは「Exploration - 航 -」

初心に戻り、振り返り、新たにスタートしていきます。入学式からクリエイティブアワード終了まで、1 本の物語として作りあげました。

新入生がデジタルハリウッドの先輩たちを見上げ、ここから夢や自分らしく生きる道を見つけ進んでいけるように、目標にできるようにという思いが込められています。

■司会について

本イベントの司会は、タレントで映画コメンテーターの LiLiCo さん、そして本学新 3 年生のトーマス・ルイスさんのお二人に務めていただきました。



LiLiCo(リリコ) / 映画コメンテーター

1970年スウェーデン・ストックホルム生まれ。18歳で来日、1989年から芸能活動スタート。

TBS「王様のブランチ」に映画コメンテーターとして出演、J-WAVE「ALL GOOD FRIDAY」など出演番組も多数。

アニメ「サウスパーク」カートマン役の声優やナレーション、俳優などマルチに活躍。

ファッションにも意欲的に取り組み、ジュエリーのデザイン、プロデュースも手掛ける。



トーマス・ルイス

デジタルハリウッド大学 3年生

ポルトガル出身

子どもの頃から『ドラえもん』や『NARUTO』などの日本のアニメが大好きで、2018年に旅行で日本を訪れたことをきっかけに留学を決意。

DHU オープンキャンパスに参加し、学生の雰囲気自分が合っているなと思ったことと、杉山学長の放つエネルギーにも惹かれ、デジタルハリウッド大学へ入学。

将来はゲーム制作をするクリエイターを目指しつつ、声優や俳優にも挑戦中。

■数年ぶりにオフラインメインで開催となったデジタルハリウッド合同入学式

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一堂に会することができなかった学年もありましたが、今年は感染対策およびマスクの着用等は個人の判断とし、保護者の皆様やこれまでに入国することができなかった新入生以外の留学生も含め、約800人以上が来場し、当日の式典に参加をしました。



撮影：佐藤 直太



撮影：植田 享英

■未来に向けて航かいははじめるクリエイターたちへ

第一部の「合同入学式」では、デジタルハリウッド株式会社の代表取締役社長兼 CEOである吉村毅、そして米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の代表を務められており、俳優でもある別所哲也様、デジタルハリウッドの DNA を繋ぐデジタルハリウッド校友会より根鈴啓一様よりご祝辞をいただきました。



■学長の杉山知之をデジタルツインとして制作

学長の杉山知之は、2年前に10万人に一人といわれるALSという診断を受けました。ALSは、脳からの命令が筋肉を動かす神経に届かなくなる病気で、現在は人工呼吸器を付けており、発話ができなくなりました。

今回、株式会社サイバーエージェント様及び株式会社 CyberHuman Productions 様のご協力のもと杉山知之をデジタルツインとしてCG技術を用い、音声についても同社による合成音声を使用し、学長の祝辞動画を制作しました。



撮影：棚田 瑛葵

■クリエイティブアワード受賞作品

第二部の「優秀作品発表会」では、グラフィック、インタラクティブ、サービス、研究・論文、映像の各部門賞のほか、DF2023 特別協賛であるカルチャア・コンビニエンス・クラブ株式会社に選出していただく『プラチナスポンサーCCC 賞』、当日アワードにご参加いただいた観客の皆様が投票で選ぶ『観客賞』、そしてデジタルハリウッドで学んだ在校生・卒業生を問わず、この1年間で特に活躍した人を学長が選び表彰をする『学長賞』を設けました。

■各部門の受賞作品を紹介

【グラフィック部門 ベストグラフィック賞】

作品紹介映像：(<https://youtu.be/-agfHuu2Puo>)

『Lights Out ～育成ゲームで楽しく節電するアプリ～』

デジタルハリウッド大学 Dang Thanh Thao(ダン タン タオ)



スマート家電と接続し、電気の節約量によってポイントが貯まるキャラクター育成ゲームアプリです。節電の面倒なイメージを塗り替え、もっと楽しく「節電するのってこんなにも面白いんだ！」と沢山の人に楽しんで節電に協力してもらいたいという思いが込められています。

【インタラクティブ部門 ベストインタラクティブ賞】

作品紹介映像：(<https://youtu.be/26IIEjc3W7k>)

『鬼のいる蔵』

デジタルハリウッド大学大学院 空野彼方(ソラノカナタ)

演劇の途中で観客が「ノベルゲーム」「実写映像」「体験型演劇」の3つの方法で物語を体感できるマルチバース体験型コンテンツです。「ノベルゲーム」に登場する静止画のキャラクターが「実写映像」で動き出し、「体験型演劇」でリアルに目の前へ現れることで、観客の没入度が徐々に上がります。



【サービス部門 ベストサービス賞】

作品紹介映像：(<https://youtu.be/qUZ6DH-2o0w>)

『do req』

デジタルハリウッド大阪本校 佐藤 さくら(サトウ サクラ)



Bluetooth と位置情報機能を使って席を譲る側のユーザーと譲ってもらう側のユーザーを繋ぎ、交通機関の座席の譲り合いをサポートするサービスです。社会課題を自分ごととして捉え、愛のある配慮が見えるデザインとアイデアで課題解決に挑戦した企画です。

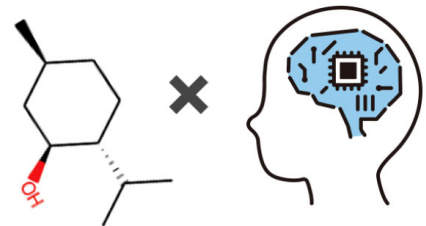
【研究・論文部門 ベスト研究・論文賞】

作品紹介映像：(<https://youtu.be/G4NG5j0VELc>)

『Molecular fingerprint および骨格構造式画像を用いた薬理活性予測』

デジタルハリウッド大学大学院 伊藤 聡志(イトウ サトシ)

AI を活用した新しい形の創薬研究です。AI の予測性能を向上させるために、化合物の従来の表現方法に加え、化合物の構造全体を俯瞰できる表現方法を追加し、異なる表現方法を組み合わせることでAIの予測性能を向上することができました。



【映像部門 ベスト映像賞】

作品紹介映像：(<https://youtu.be/pHFRYp0hP-M>)

『可愛い子は旅をする』

デジタルハリウッド大学 小瀧 万菜花(コタキ マナカ)



「ヤングケアラー」と「家族」の関係について取り組んだ実写映像作品です。家族をサポートするために進学などの夢を諦めざるを得ない状況にいる子供たちの存在をより世間に注目してもらい、人でも多くの人にヤングケアラーの問題を知ってもらいたいという小瀧さんの真摯な思いから本作品は制作されました。

【映像部門 ベストアニメーション賞 ※SSFF2023 アニメーション部門 特別上映作品として選出】

作品紹介映像: (<https://youtu.be/4--Xx0SHG-w>)

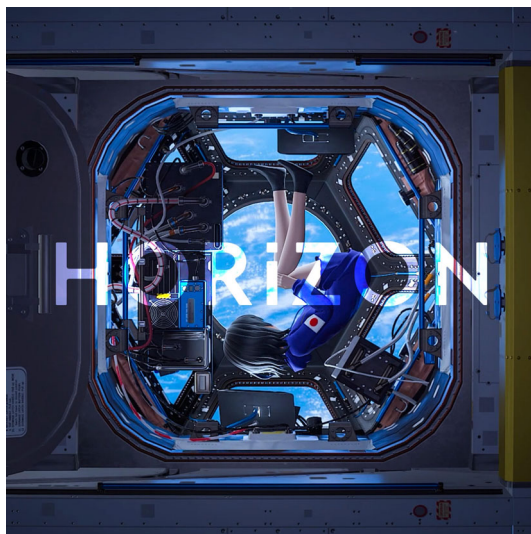
『HORIZON』

デジタルハリウッド大学 川添 太雅(カワゾエ タイガ)

宇宙空間での事故で父親を亡くした主人公が悲しみから立ち直り、父親の観ていた景色を観るために宇宙飛行士を目指すストーリーの CG アニメーション作品です。背景のモデリングやロケットの発射シーンなど、作者が拘り抜いた写実性の高い細かなディテールが特徴の作品です。

本作品は観客が選ぶ観客賞も受賞されました。

尚、DF2023「映像部門」のアニメーション最優秀作品は、2012年よりデジタルハリウッドが協賛する米国アカデミー賞公認アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023」の特別上映作品として【アニメーション部門】にて上映されます。(2023年6月開催)



■プラチナスポンサーCCC賞

作品紹介映像: (<https://youtu.be/kXBL7pTvqlA>)

『Simplee』

ジーズユニット札幌 諏訪 実奈未(スワ ミナミ)



子育てインフラの向上を目的とした業務効率化 SaaS です。諏訪さん自身が母親として子育てするなかで、アナログで煩雑な保育関連の手続きを課題と捉え、仕事以外の時間は子供と向き合いたいという思いから制作しました。紙が多い保育申請をスマホひとつで可能にし、保育申請で取られていた家族の時間を取り戻します。

プラチナスポンサーCCC賞では、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社より、増田宗祿様にプレゼンターを務めていただきました。

■学長賞

【西海クリエイティブカンパニー】

宮里 賢史(ジーズアカデミー福岡)



AIを活用した各種 LINE アプリケーション“ばりぐっどくん”シリーズ開発者。

LINE でテキストを送信すると、3 秒程度で画像が返信される無料の LINE アプリケーション「お絵描きばりぐっどくん」は登録ユーザー数 250 万人を超え、その他の文字起こしばりぐっどくんや似顔絵ばりぐっどくんなどシリーズ合計ユーザー数は 340 万人を突破。

2016 年より西海市の地方創生事業の推進を担当。総務省異能(inno)vation アワード受賞。

【キッズウィークエンド】

三浦 里江(ジーズアカデミー東京)

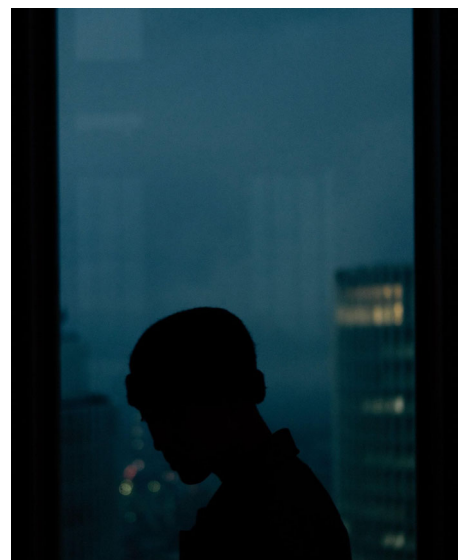


生まれの差による教育格差のない社会を目指し、「社会を丸ごと教科書に！」をコンセプトに、世界中の子供たちが無料でプロから直接学べるオンライン教育サービスを提供。サービス開始 2 年半で、他の子ども向け教育サービスを圧倒するスピードで 4 万人以上の会員を獲得。

子供によりパーソナライズした学びを届けるサービスとして「バーチャル空間で子供たちが学び合うオンライン学童」、AI 技術「ChatGPT」を活用し、小学生の疑問に答えるキッズ AI 博士「AI ウィー子ちゃん」のサービスを提供開始。

【映像監督】

Spikey John (デジタルハリウッド大学)



ラップが社会的認知を得てヒップホップが世間に溢れかえった 2016 年。

ストリートの空気を瞬時に切り取る独自の着眼点を武器にシーンに颯爽と登場した映像作家。ハイペースな作品量とそのクオリティは、第一線で活躍する様々なアーティストから絶大な支持を受けている。

[受賞歴]

SPACE SHOWER MUSIC VIDEO AWARDS 2022

BEST VIDEO DIRECTOR

GOLDEN AWARD OF MONTREUX 2020

DIGITAL/INTERACTIVE – ONLINE VIDEO

Gold Medal

■DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX 2023 グランプリ 受賞作品

【グラフィック部門 ベストグラフィック賞受賞作品】

『Lights Out ～育成ゲームで楽しく節電するアプリ～』



デジタルハリウッド大学 Dang Thanh Thao(ダン タン タオ)

クリエイティブアワード DIGITAL FRONTIER GRAND PRIX 2023 の頂点に輝いたのは、**ベストグラフィック賞**を受賞した Dang Thanh Thao さんの『Lights Out ～育成ゲームで楽しく節電するアプリ～』です。節電を日常化するにはどうすれば良いか、特に自活する若者に有効な方法は何か。その問いへの答えとして生まれた、キャラクターを選びポイントを貯め育成していくという楽しい経験と節電を組み合わせたキャラクター育成型アプリの作品です。可愛いキャラクター達は完成度が高く、アプリの設計はもとより、深い考察と優れた技術+表現力に裏打ちされた、エンターテインメン性のある傑出した作品として評価されました。

各賞の詳細につきましては、オフィシャルサイトをご覧ください。

<https://www.dhw.co.jp/df2023/>

本年度も非常にクオリティの高いアウトプットが選出され、審査も非常に難航を極めました。ここから新たに旅立つ卒業生、そしてここを目指し進み始める新入生たちが一堂に会する、素晴らしい時間となりました。

■各部門審査員

クリエイティブアワードの作品審査は、下記の卒業生の方々に務めていただきました。
(お名前／現在の所属先／出身校)の順に掲載

<審査員リーダー>

浅枝大志さん(メルカリ／デジタルハリウッド大学大学院)

<映像部門>

山田義也さん(ILM 所属／デジタルハリウッド USA 校(DHIMA))

原祐樹さん(ゴーストゲート・フィルムズ代表、映画監督／デジタルハリウッド大学)

<グラフィック部門>

北沢直樹さん(FURIKAKE PRODUCTS 代表／デジタルハリウッド大阪本校)

八木たな奈さん(グリー／デジタルハリウッド大学)

<インタラクティブ部門>

伊東ケイスケさん(XR アーティスト／デジタルハリウッド東京本校)

須藤絵理香さん(電通／デジタルハリウッド大学、同大学院)

<サービス部門>

小塚仁篤さん(ADK／デジタルハリウッド大学、同大学院)

三浦里江さん(キッズウィークエンド代表／ジーズアカデミー)

<研究・論文部門>

高木垂有子さん(湘北短期大学／デジタルハリウッド大学大学院)

合田美子さん(熊本大学／デジタルハリウッド大学大学院)

■協賛企業

<特別協賛/プラチナスポンサー>

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

<ゴールドスポンサー>

デジタルハリウッド校友会

株式会社 aio 幸和商事株式会社

<シルバースポンサー>

ショートショート実行委員会

NEC ネットエスアイ株式会社

<ブロンズスポンサー>

Packe 株式会社

<ライトスポンサー>

株式会社オーディオストック

SMBC ファイナンスサービス株式会社
加賀ソルネット株式会社
株式会社デジタル・ナレッジ
フォントワークス株式会社
バリュークリエイション株式会社
アドビ株式会社
株式会社クリエイターズマッチ



メインビジュアル制作: Arrows <https://arrows-art.design/>

■主催

デジタルハリウッド株式会社

■デジタルハリウッド株式会社

<https://www.dhw.co.jp/>

1994年、日本初の実践的産学協同のクリエイター養成スクールを設立。現在、東京と大阪に専門スクールと、全国の各都市にWebと映像の学べるラーニングスタジオ「デジタルハリウッドSTUDIO」、そしてeラーニングによる通信講座「デジハリ・オンラインスクール」を展開。

2004年には日本初、株式会社によるビジネス×ICT×クリエイティブの高度人材育成機関「デジタルハリウッド大学院(専門職)」、翌2005年4月に「デジタルハリウッド大学」を開学。

設立以来、デジタルハリウッド全体で9万人以上の卒業生を輩出している。

さらには、2015年4月、スタートアップ志望者を対象としたエンジニア養成学校『ジーズアカデミー』を開校、同年11月には日本初のドローンビジネスを皮切りに、ロボットサービス産業の推進を目的とした『デジタルハリウッド ロボティクスアカデミー』を開校した。

■デジタルハリウッド大学 [DHU]

<https://www.dhw.ac.jp/>

2005年4月、文部科学省認可の株式会社立の大学として東京・秋葉原に開学(現在の所在地は東京・

御茶ノ水)。デジタルコミュニケーション学部(4年制大学)とデジタルコンテンツ研究科(専門職大学院)を設置している。

デジタルコミュニケーション学部では、不確実で予測不能な未来を自分らしく生き抜く力を身につける。デジタルコンテンツ(3DCG/VFX、VR/AR、ゲーム、映像、グラフィック、Webデザイン、メディアアート、プログラミング等)と企画・コミュニケーション(ビジネスプラン、マーケティング、広報PR等)を産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学べる一学部一学科制を採用。さらにグローバル人材を育成するために外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。世界43か国・地域出身の学生が在籍し、御茶ノ水駅前でも多様性に富むキャンパスを運営している。

デジタルコンテンツ研究科では、超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく創発的学術領域 [SEAD (Science/Engineering/Art/Design)] の4要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。新規事業プランニングとプロトタイピングなど、院生のアイデアの実装およびスタートアップ支援により、「令和3年度大学発ベンチャー調査」(経済産業省)では全国大学中12位、私立大学中4位となっており、多数の起業家を輩出している。

■デジタルハリウッド大学大学院 [DHGS]

URL: <https://gs.dhw.ac.jp>

日本初の株式会社立の専門職大学院として2004年に開学。

超高度情報化社会においてデジタルコミュニケーションを駆使し、社会に変革を起こすリーダーを輩出すべく、[SEAD (Science/Engineering/Art/Design)] の4要素をバランス良く身につけ融合し、理論と実務を架橋する人材育成を行う。

■デジタルハリウッド(専門スクール)

<https://school.dhw.co.jp/>

1994年10月、デジタルハリウッド株式会社の設立と同時に東京・御茶ノ水に本校として開校。後に大阪・梅田にも開校。主に社会人を対象に、Web・デザイン・3DCG・映像・グラフィック等のプロを養成し、各産業界への就転職や独立を目指す通学の専門スクール。

■デジタルハリウッド STUDIO

<https://school.dhw.co.jp/p/studio/>

『デジタルハリウッド STUDIO』とは、「今までにないラーニングスタジオ」をコンセプトに、「好きなことを、好きな時間で、好きな場所で、自分らしく学ぶ」為の専用学習システム(デジタルハリウッド STUDIO 専用 LMS: Any)を軸に、受講生が自身の理解度を詳しく確認できる独自の評価システム、また受講目的に応じた問題解決ができる対面式サポートや、様々な繋がりが持てる環境を揃えています。

また、出店地域に特化した形でデジタルハリウッド STUDIO を開設いただけるよう、デジタルハリウッド設立より28年の間に生まれた多くの実績を基に築きあげた教育ノウハウとメソッドをパッケージングし、全国各地の業務提携企業にライセンス方式で提供しております。

■G's ACADEMY(ジーズアカデミー)

<https://gsacademy.jp/>

G's ACADEMY は「セカイを変える GEEK を養成する」をテーマに、2015年4月にデジタルハリウッドが設立したエンジニア・起業家養成スクールです。このコンセプトが共感を呼び、入学者の約80%が起業志

望者またはベンチャー企業への就職希望者となっています。

入学時は全くのプログラミング初心者だった方々が、卒業時にはサービスを次々と立ち上げ、卒業間もなくVCからの資金調達に成功するなど奇跡的なストーリーを生み出し、現在は約1,800名の起業家×エンジニアコミュニティに成長しています。

また、多くの起業志望者に対応すべく、最大500万円までの投資が可能なインキュベーター機関「DROCKETS」を設立。起業家とエンジニアの化学反応を引き起こし「セカイを変えるようなサービスを日本から生み出すこと」に貢献しています。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail: press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト : <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース : <https://www.dhw.co.jp/press-release/>
